



天気豫報
今晩北の風晴薄曇
明日南の風曇後驟
雨模様

隨筆 磐城魂 (一)

島田 忠夫

大きく云へば、皇軍日本風となり。そして明治の日本魂である。小ざく地三十七年一月十七日に大往方的に言へば、磐城魂とも生を遂げた。

磐城魂は、そのへんの地方々々、轉つてゐるのが、いつても聞かぬ。彼は死ななかつた。いつても聞かぬ。彼は死ななかつた。いつても聞かぬ。彼は死ななかつた。

暴風雨の夜
○まがつ風溜とたけける雨ともこの家は潰れ去らむと思ふ

聞藤田氏奇事
○我政府「爾後國民政府を對手とせしむ」との重大聲明をなす(昭和十三)△△△

「耳」を
○アナンサーにちもこのころは、よく注意して、したるやまらもさういふこともなくつた。

珠算奨励シヤンショウ
○アナンサーにちもこのころは、よく注意して、したるやまらもさういふこともなくつた。



恩讐無道
(3) 久我莊多郎 香川三十代書

恩讐無道
「貴公が行つてくれれば、天野先生もおよろこび下さう。いよ專断の顔さへ見せ」

「じよ、談でない。まことそれ考へてゐるわした。怒鳴りつけるやうに、ぞ、そんな馬鹿なことが、俺に、信じられるか？」

「貴公が行つてくれれば、天野先生もおよろこび下さう。いよ專断の顔さへ見せ」

「じよ、談でない。まことそれ考へてゐるわした。怒鳴りつけるやうに、ぞ、そんな馬鹿なことが、俺に、信じられるか？」

「じよ、談でない。まことそれ考へてゐるわした。怒鳴りつけるやうに、ぞ、そんな馬鹿なことが、俺に、信じられるか？」

「じよ、談でない。まことそれ考へてゐるわした。怒鳴りつけるやうに、ぞ、そんな馬鹿なことが、俺に、信じられるか？」

「耳」を
○アナンサーにちもこのころは、よく注意して、したるやまらもさういふこともなくつた。

珠算奨励シヤンショウ
○アナンサーにちもこのころは、よく注意して、したるやまらもさういふこともなくつた。

「耳」を
○アナンサーにちもこのころは、よく注意して、したるやまらもさういふこともなくつた。

白土醫院
内臓外科 専門
皮膚泌尿科 性病科
泌尿器科 性病科
平市宇田町
電話 二七九

和洋
建築 家具
其他裝飾品一般
御用命は迅速に御務め致します。
製作販賣
平市五丁目四番

泉屋菓子店
平市五丁目
電話 六六八

第一線
見不知羊羹と
湖の華
平市五丁目
電話 六六八

高島屋
男女學生服 大特賣
高島屋
平市二丁目
電話 三八六番

新車のお知らせ
断然!!! 乗り心地良い!!!
三七年型フォード
入車いたしました。
是非! 御試乗の程を!
市内四丁目
スミキタクシー
電話 二一七番

平病院
院長 鈴木定藏
副院長 高橋俊幸
鈴木定藏
鈴木定藏
鈴木定藏

井坂醫院
平市田町 電話 五五九

産婦人科
井坂醫院
平市田町 電話 五五九

生徒募集
昭和十四年度募集人員
本 科 (修業年限二ヶ年) 五〇名
技 術 科 (修業年限二ヶ年) 五〇名
専攻科 (修業年限一ヶ年) 二〇名
各 科 二 年 制 入 学 生 若 干 名
入 学 願 書 履 歴 書 添 付 三 月 三 十 一 日 迄 提出 下 さい。入 学 試 験 行 行 ハ 願 書 受 付 順 入 学 許 可 致 シ マス。
入 学 式 四 月 一 日 行 政 政 務 マ ス。
規 則 書 請 求 場 合 返 送 料 ト シ 郵 券 切 手 添 付 送 附 願 書 マ ス。
平市振替小路二十番地
文部大臣 平陽女學校 認 可

石綿ムシカマド
平市五丁目
和洋銅物 釜屋商店

安齊醫院
平市田町
電話 四七五番

